

2021 年 12 月 10 日

2021 年 11 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は金融、チラシ、封筒の小ロット案件の動きが見られた事と、学参テキスト関連の仕事も堅調に推移し前年を上回ったが、前々年比でみると 90.1%であり本格的な回復までには至らなかった。

巻取は生損保、金融、チラシを中心に全体的に案件数、数量の減少で前年を大幅に下回った。前々年比でも 73.9%であり回復までには程遠い状況となっている。

（前年比 平判 104.4% 巻取 78.9%）

再生紙は指定案件の減少、官公庁関連入札物件の失注が目立ち、平・巻共に前年を大幅に下回った。前々年比でも 47.4%と低調に終わる。

（前年比 再生上質平判 70.5% 再生上質巻取 51.2% 再生上質計 64.1%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 99.4%）

<A2 コート>

平判は金融、不動産、各企業カタログ、パンフレットやカレンダーなどの定期案件で動きがあり、前年を若干下回った。巻取はエンタメ、食品デリバリー、通販向けのチラシで動きがあり、前年とほぼ同様であった。緊急事態宣言は解除されたが各業界においてコロナ禍での自粛が継続されており、新規の案件も少なく印刷物全般の需要は減少した。また、昨年は Go To キャンペーンが継続中であり、キャンペーン案件の受注が無かったことの影響も大きい。

（前年比 平判 96.2% 巻取 99.6% 全体 96.9%）

（前々年比 A2 コート計 83.4%）

<A3 コート>

学習塾、食品スーパー、ドラッグストアの定期的なチラシ案件で動きがあり、巻取は前年を大幅に上回った。

（前年比 平判 69.9% 巻取 130.8% 全体 105.9%）

（前々年比 A3 コート計 79.4%）

<ノーカーボン紙>

平判は緊急事態宣言解除後、一般の帳票関連の動きも堅調に推移し前年を上回った。

巻取は例年の国税確定申告案件の動きがみられたが、ウェブへの切り替えの影響もあり、ペーパーレス化が進んでおり数量は減少した。また生損保、金融の動きも弱く前年を大きく下回った。

（前年比 平判 103.5% 巻取 79.0%）

<上質フォーム>

緊急事態宣言解除の影響があり議決権、招集通知の動きが堅調に推移し、官庁関連の納付書はじめ一般の動きや金融の動きもみられ前年を上回った。

（前年比 104.0%）

<包装用紙>

特殊両更は金融、保険会社向け、また一部官公庁向け封筒で動きがあったが全体を押し上げる程ではなく、前年を僅かに下回った。

(前年比 96.0%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途等に動きが見られ前年を上回った。

(前年比 107.0%)

片艶晒は手提袋が相変わらず低調であるが、大型商業施設、百貨店では消費上向きの期待からの包装用途の増産がみられており前年を上回った。

(前年比 106.4%)

両更晒は地方自治体封筒、政府系イベントの封筒、及び一部では片艶からのシフトによる動きがあったものの、手提げ袋の動きが相変わらず鈍く全体的には前年を僅かに下回った。

(前年比 99.3%)

色クラフトは緊急事態宣言が明け、一部テレワークが解除された影響で一般企業向け、また、金融保険向け封筒に動きが見られ前年を上回った。

(前年比 105.9%)

純白ロールは緊急事態宣言の解除と感染者の減少により、年末年始の人の流れが増える期待感から土産、和菓子の包装用途に動きが見られ、前年を大きく上回った。

(前年比 138.2%)

包装紙全体では110.1%と前年を上回った。

<板紙>

コートボールは菓子の土産需要は依然低調も生活雑貨向けに動きがみられた。

高板は出版向けが低調、POPも動き出すが大口案件が少ない。

特板は一次容器やテイクアウト需要が安定。

チップボールは児童本の出版用途は安定するも梱包材、パッケージは低調であった。

全体的には前年を上回った。

(前年比 110.0%)